

れいわ ねんどかどまししがくしゅうとうたつどちやうさけつか し 令和3年度門真市学習到達度調査結果のお知らせ

がつ にち すいようび
4月21日(水曜日)におこなったかどまししがくしゅうとうたつどちやうさけつか について、けつかが がいよう ほんこう
結果の概要や本校の特徴、今後の取組などをまとめましたのでお知らせいたします。ちやうさ ないよう
調査の内容は『国語』と『算数』のテストと『総合質問紙調査アイチェック』(※)です。

テストのように点数で表せる力 のことを『認知能力』といいます。一方で『アイチェック』などのアンケートをとおして測れる力 を「非認知能力」といい、これは点数では表せません。たしかな学力を身につけるためには、『認知能力』と『非認知能力』の双方が必要であると考えられており、ちやうさけつか ぶんせき
調査結果を分析して見えてきた双方の関係性についてもかかせていただきます。

なお、お子様の成績につきましては『個票』を個人懇談の席でお返しいたしますので、お子様の学習状況等を把握していただき、家庭学習にいかしていただきますようお願い申し上げます。

※アイチェックとは、子どもたちに様々な質問をして、自分を大切に思っているか、ルールを大切にしているか、思いやり、友達との人間関係、生活習慣、学習意欲などを調べる調査のことです。

ねんせい がくりよく がいよう 1. 3年生の学力の概要

① ぜんこくへいきんち ほんこうけつか ひかく 全国平均値と本校結果の比較

きやうか 教科	こくご 国語	さんすう 算数
ぜんこくへいきんち 全国平均値	72.1	75.5
ほんこう けつか 本校の結果	67.1	70.2

こくご では、ぜんこくへいきんち
○国語では、全国平均値を5ポイント下回っています。

き そもんだい
・基礎問題で3.6ポイント、活用問題では8ポイント下回っていました。また、「話すこと・聞くこと」の領域は全国平均値を上回っていました。

さんすう では、ぜんこくへいきんち
○算数では、全国平均値を5.3ポイント下回っています。

き そもんだい
・基礎問題で4.1ポイント、活用問題で9.5ポイント下回っていました。また、「データの活用」の領域は全国平均値を上回っていました。

② ぜんこく 全国において正答率が高く、本校においても正答率が高かった問題例

【国語】

・話を聞きとる 88.9%(全国平均値:83.5%)

・かん字を読む 90.5%(全国平均値:91.7%)

【算数】

・10000までの数・分数 80.0%(全国平均値:76.6%)

・たし算・ひき算 78.5%(全国平均値:78.5%)

③ ぜんこく 全国において正答率が高く、本校において正答率が低かった問題例

【国語】

・かん字を書く 68.3%(全国平均値:78.7%)

【算数】

・三角形と四角形 73.8%(全国平均値:84.1%)

・はこの形 66.7%(全国平均値:76.1%)

・長さ・かさ 74.6%(全国平均値:84.9%)

2. アイチェックの概要(全体では全国平均50に対し52.9)

(①よくあてはまる ②あてはまる ③あてはまらない ④まったくあてはまらない)の4つの選択肢のうち、①と②を選んだ子どもの割合が全国より大きく上回ったものを下の表にまとめました。

質問の内容	ほんこう 本校	ぜんこく 全国
きやうしつ しずか かんきやう べんきやう しやうちゆう 教室は静かな環境で、勉強に集中できる	71.4	48.3
がっこう じゆぎやう よしゆう じやくしゆう 学校の授業の予習や復習をしている	85.7	45.2
せんせい きも 先生はあなたの気持ちをわかってくれる	100.0	86.4
がっこう きそく 学校の規則やクラスで話し合ってきたことを守っている	100.0	87.5
がっこうせいかつ 学校生活で、クラスの間みんなが注目してくれることがある	61.9	46.4

3. 認知能力と非認知能力の関係性

アイチェックとテスト結果との関係性を分析したところ、「つらいことやこまったことを学校の先生に相談できる」「ものごとを行うときに次に何をすればよいか考える」が学力にプラスの影響を与えていました。また、家庭での「平日の睡眠時間」「休日の勉強時間」も学力にプラスの影響を与えていました。子どもたちの学力向上をめざして、今後、ご家庭で上に書いたことについて、ぜひとも協力いただきたいと考えています。

4. 今後の3年生の取組について

こんねんど
・今年度から始めた段階的読書指導『B K D(ブック大作戦)』において、自分に合った本を選んで読み、内容や感じたことをまわりに伝えたいで書いてまとめ、アルバムに綴じて自分の学びを振り返ることのできる活動に取り組み、文章力の向上を図る。

すなご ぶんしやう しようやく りゆう ときかた せつめい ぶんしやう かくもんだい けいぞくてき とりく
・砂子タイムにて、文章を要約すること、理由や解き方を説明する文章を書く問題に継続的に取り組む。

ひとり てばん ちゆうもく きっかけ
・一人ひとりに出番があって、注目されるような機会をたくさんつくり、子どもたちの自己有用感(自分は仲間や集団の中で役立っているのだという気持ち)を育てる。

5. 砂子小学校の取組と評価

こくご さんすう ひる すなご
・国語・算数ともに、昼の「砂子タイム」で基礎基本問題に取り組んでいる。算数の「たし算・ひき算」で全国平均値とほぼ同じ数値であり、継続して取り組んできた成果と考えられる。

こんご あさどくしよ ほうかご さんすうきやうしつ ほしじゆうがくしゆう じつし き そがくりよく こうじよう ほか
・今後、朝読書や放課後の算数教室(補充学習)も実施し、基礎学力の向上を図っていく。

6. 保護者の皆様方へのおねが

れんらくちやう しゆくだい がくしゆう ひつよう もちもの そろ
・連絡帳・宿題のチェックや学習に必要な持ち物を揃えてあげてください。

よみきかせ ほごしや かた いっしょ ほん よんだり
・読み聞かせをしたり、保護者の方も一緒に本を読んだりするなど、本に触れ合う機会をたくさんつくってあげてください。

きゆうじつ いえ がくしゆう しゆうかん ちやうじかん きめる
・休日でも家で学習する習慣をつけ、ゲームやスマートフォンは長時間やらないなど、ルールを決めるようにしてください。

はやね はやおき をさせ すいみんじかん たつぷりととらせてください。また、毎朝、朝食を必ずとらせてください。

よしゆう じやくしゆう こえかけ ほから おねが
・予習や復習ができるよう声掛け、働きかけをお願いします。

かどましりつすなごしやうがっこう
門真市立砂子小学校
こうちょう みつなが せいいち
校長 満永 誠一

れいわ ねんどかどましがくしゅうとうたつどちようさけっか し 令和3年度門真市学習到達度調査結果のお知らせ

がつ にち すいようび
4月21日(水曜日)におこなった門真市学習到達度調査について、結果の概要や本校の特徴、今後の取組などをまとめましたのでお知らせいたします。調査の内容は『国語』と『算数』のテストと『総合質問紙調査アイチェック』(※)です。

テストのように点数で表せる力のことを『認知能力』といいます。一方で『アイチェック』などのアンケートをとおして測れる力を「非認知能力」といい、これは点数では表せません。たしかな学力を身につけるためには、『認知能力』と『非認知能力』の双方が必要であると考えており、調査結果を分析して見えてきた双方の関係性についても書かせていただきます。

なお、お子様の成績につきましては『個票』を個人懇談の席でお返しいたしますので、お子様の学習状況等を把握していただき、家庭学習にいかしていただきますようお願い申し上げます。

※アイチェックとは、子どもたちに様々な質問をして、自分を大切に思っているか、ルールを大切にしているか、思いやり、友達との人間関係、生活習慣、学習意欲などを調べる調査の事です。

1. 4年生の学力の概要

① 全国平均値と本校結果の比較

きょうか 教科	こくご 国語	さんすう 算数
ぜんこくへいきんち 全国平均値	69.3	70.9
ほんこう けっか 本校の結果	68.4	67.2

○国語では、全国平均値を0.9ポイント下回っています。

・基礎問題で1.4ポイント下回っているものの、活用問題では0.3ポイント上回っていました。また、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「書くこと」の3領域で全国平均値を上回っていました。

○算数では、全国平均値を3.7ポイント下回っています。

・基礎問題で1.8ポイント、活用問題で8.7ポイント下回っていました。また、「測定」の領域では、13.2ポイントと大きく下回っていました。

② 標準スコアの推移(3年生のときの結果との比較)

きょうか 教科	れいわ ねんど 令和2年度	→	れいわ ねんど 令和3年度
こくご 国語	49.7	→	49.6
さんすう 算数	48.7	→	48.2

(標準スコアとは、全国平均値から割り出した偏差値の事です。50が平均です)

③ 全国において正答率が高く、本校においても正答率が高かった問題例

- 【国語】
- ・漢字を読む 85.2%(全国平均値:87.1%)
 - ・物語の内よよを読み取る 83.3%(全国平均値:80.8%)
- 【算数】
- ・たし算・ひき算 94.4%(全国平均値:78.3%)
 - ・大きい数・小数・分数 78.5%(全国平均値:79.1%)

④ 全国において正答率が高く、本校において正答率が低かった問題例

- 【国語】
- ・話し合いの内よよを聞き取る 72.2%(全国平均値:74.8%)
- 【算数】
- ・時ごとと時間 52.8%(全国平均値:72.1%)
 - ・わり算 66.7%(全国平均値:75.6%)
 - ・口を使った式 68.5%(全国平均値:74.0%)

2. アイチェックの概要(全体では全国平均50に対し50.1)

(①よくあてはまる ②あてはまる ③あてはまらない ④まったくあてはまらない)の4つの選択肢のうち、①と②を選んだ子どもの割合が全国より大きく上回ったものを下の表にまとめました。

質問の内容	ほんこう 本校	ぜんこく 全国
きょうしつ しずか かんきやう べんきやう しゅうちゆう 教室は静かな環境で、勉強に集中できる	77.8	48.0
ひと なかよ クラスの人と仲良くできる	100.0	80.7
ましがえた あと やりなお テストで間違えたときは、後でやり直している	88.9	78.6
ぜんたい ともだちどうし はなしあい じぶん いけん かつぱつ ほうげん クラス全体やグループ、友達同士との話し合いで、自分の意見を活発に発言している	77.8	58.7
がっこうせいかつ ちゅうもく 学校生活で、クラスのみなが注目してくれることがある	72.2	45.7

3. 認知能力と非認知能力の関係性

アイチェックとテスト結果との関係性を分析したところ、「前日の持ち物確認」「毎日の朝ごはん」「学校に行きたい」「学校の規則をまもる」「授業での教えあいをよくする」「自分に悪いところがあれば素直に謝る」「休日の勉強時間」が学力にプラスの影響を与えていました。反対に「平日にネットで動画を見る時間やゲームをする時間」はマイナスの影響があるようです。子どもたちの学力向上をめざして、今後、ご家庭で上に書いたことについて、ぜひとも協力いただきたいと考えています。

4. 今後の4年生の取組について

- ・今年度も昨年度に引き続き、段階的読書指導『BKD(ブック大作戦)』において、自分に合った本を選んで読み、内容や感じたことをまわりに伝えたいで書いてまとめ、アルバムに綴じて自分の学びを振り返ることのできる活動に取り組み、文章力の向上を図る。
- ・砂子タイムにて、文章を要約すること、理由や解き方を説明する文章を書く問題に継続的に取り組む。
- ・テスト直しをはじめ、見直しを丁寧に行い、間違いをそのままにしない態度を育てる。

5. 砂子小学校の取組と評価

- ・国語については、昨年度一年間BKDに取り組んだ成果として「物語の内よよを読み取る」での正答率が全国平均を上回ったと考えられる。
- ・国語・算数ともに、昼の「砂子タイム」で基礎基本問題に取り組んでいる。算数の「たし算・ひき算」で全国平均値を16.1%上回っており、継続して取り組んできた成果と考えられる。
- ・今後、朝読書や放課後の算数教室(補充学習)も実施し、基礎学力の向上を図っていく。

6. 保護者の皆様方へお願い

- ・連絡帳・宿題のチェックや学習に必要な持ち物を揃えてあげてください。また、毎朝、朝食を必ずとらせてください。
- ・読み聞かせをしたり、保護者の方も一緒に本を読んだりするなど、本に触れ合う機会をたくさんつくってあげてください。
- ・休日でも家で学習する習慣をつけ、ゲームやスマートフォンは長時間やらないなど、ルールを決めるようにしてください。